

2019年度 広島商工会議所 事業計画〈概要〉

2019年度本所事業計画書から、
主要な事業展開についてご紹介いたします。

1. 中小・小規模企業の経営力アップに向けた支援の強化

▶行政、中小企業支援機関、地域金融機関、専門家等により、事業承継ネットワークを構築し、情報や課題を共有しつつ、県内企業の事業承継が円滑に進むよう普及啓発に努める。

▶中小・小規模事業者が取り組みやすいIT活用の事例やサービスについて情報提供を行い、経営力向上の推進を図る。

▶広島県の後継者不在率は全国でも5番目に高いとも言われ、後継者の育成が喫緊の課題である。後継者・後継候補者が経営者へと軸足をシフトする契機となるよう「後継者育成講座」を開催し、経営者として必要とされる経営知識の習得や経営計画の策定について学ぶ機会を提供する。

▶2019年10月に予定されている消費税率10%への再引き上げに向け、中小・小規模企業の円滑な価格転嫁対策や経営体力の強化に資するきめ細やかな相談体制を構築する。また、軽減税率制度やインボイス導入の動向を注視しつつ、適宜経営支援に努める。

▶新たな産業の創出や雇用の拡大につながる“創業”に対し、計画の策定から資金調達、創業後のフォローアップなど、総合的な支援を実践する。

▶中小・小規模企業の資金繰り支援を強化するため、「マル経融資」「リーグ保証」「広商金融サポート窓口」等の制度PRに注力するとともに、経営指導員によるキメ細かなサポートを実践する。

▶「広島県中小企業再生支援協議会」を中心に専門家の協力を得て、中小企業の事業再生に取り組む。

2. 販路開拓に向けたビジネスマッチング事業の拡充

▶西日本豪雨災害復興支援の観点から実施する、首都圏バイヤーと広島・岡山・愛媛県内企業との商談会への協力を通じて、被災企業の支援を行う。

▶ビジネスネットワーク拡大交流会を開催するとともに、ビジネス交流会を適宜開催し、人脈拡大の機会を増やす。

▶中小企業が自社にあった販路開拓に取り組むことができるよう国内版並びに海外版の販路開拓セミナーを開催する。

▶全国最大規模の展示会「メッセナゴヤ」への共同出展を通じ、中部地域企業との商談機会を創出する。

▶BUYひろしま（県内製品愛用運動）の促進、郷心会活動の強化を通じて自動車関連産業など県内産業を積極的に支援する。

広島商工会議所では、昨年策定した第四次中期行動計画（2018～2020年度）において、商工会議所の理念を実現するための4つの行動目標と、具体的な取り組みとして12のアクションプランを掲げております。2019年度は、現下の経済情勢や雇用環境や地方創生の動きを見据え、下記の取り組みにより、会員企業の経営力強化と地域の活性化を目指し各種事業を実施して参ります。

▶販路開拓支援サイト「ザ・ビジネスモール」の登録・利用を促進し、会員企業のビジネスチャンスの拡大を推進する。

3. 中小企業における雇用の確保と人材育成の推進

▶企業内に働き方改革を進めるしくみを設け運用し、一定の成果が認められる企業を認定・評価する「広島県働き方改革実践企業認定制度」事業を通じ、県内企業の機運醸成・取り組み促進を図る。



広島県働き方改革実践企業認定制度授与式

▶働き方改革に関する勉強会やシンポジウムの開催を通じて、取り組みの促進や機運醸成を図る。

▶生産性の向上およびリスクマネジメントの観点から、従業員の健康管理を経営戦略として捉える「健康経営」の普及啓発を行う。

▶企業ニーズに沿ったビジネススクールの開催や各種検定試験の広報強化等を通じ、企業における人材育成を支援する。

4. 本所環境行動計画の推進と環境経営の支援強化

▶第二次環境行動計画に基づき、企業の環境経営への取り組みを促す。

5. 現場に立脚した政策提言活動

▶景気対策、中小企業施策、税制改正、規制改革等の諸施策並びに都市づくり・交通インフラの整備促進について、国、県、市等に対して意見・提言・要望活動を展開する。



会員ニーズに即した要望活動

◆第四次中期行動計画における行動目標

I. 企業の発展と雇用の創造	下記項目	1～4
II. 産業界の声の具現化	//	5～6
III. 都市づくりの推進とにぎわいの創出	//	7～9
IV. 組織基盤の強化	//	10～12

◆実現に向けた12のアクションプラン

▶行政機関との懇談や経済団体、業界団体をはじめ多様な主体との連携を通じて地域経済の諸課題の解決に向けた意見形成を図る。

6. 会員ニーズに応じた部会事業の推進

▶各業界動向に応じた会員企業の経営力向上を支援するため、各種セミナーや講演会、視察会等を開催する。

▶製造現場に「ムダ取り」を実践できる人材を育成することにより、中小製造業の生産性向上に資する。

▶入札・契約制度をはじめとした建設業の諸課題に関する国・県・市の担当部署との勉強会（意見交換）を開催し、建設関連事業者の課題解決を図る。

▶行政や運輸業界団体との意見交換会を開催し、運輸関連業界が抱える諸課題の把握・解決策等について検討を行う。

7. にぎわいのある街づくりの提案とインフラ整備の促進

▶浅野氏広島城入城400年記念事業への協力を通じ、広島県の歴史や文化を県民・市民等に広く伝えるとともに、にぎわいの創出を図り地域活性化に寄与する。

▶グローバルMICEへの取り組みを推進するため、行政や関係機関と連携し、ソフト・ハードの両面から具現化に向けた検討を行う。

▶平和大通りや広島市の美しい水辺などの魅力拡充をはじめ、都市の活力とにぎわいを生み出す魅力ある都心を実現するため、官民が連携して取り組む。また、旧広島市民球場跡地の活用について、関係機関と連携しにぎわい創出に協力する。

▶広島都市圏並びに広域幹線道路ネットワークの整備促進、空港・港湾施設の利活用促進を図る。

8. 地域資源を活かした国内外観光客の誘致拡大

▶「ひろしま夜神楽」をはじめとした伝統芸能等の地域資源を活用し、新たな観光客を誘致する。



神楽上演後の記念撮影

▶行政・観光関連団体と連携し観光客の誘致拡大を図る。

▶地域活性化が期待される大型クルーズ客船の寄港による外国人観光客の誘致活動や受け入れ体制の充実を図る。

▶訪日外国人の多様なニーズに対応するため、デジタルサイネージ等を活用した観光情報発信等、受入環境整備の促進を図る。

9. 広域連携を通じた観光・経済交流と地域づくりの推進

▶体験型修学旅行に関わる調整や問い合わせ等、ワンストップで円滑にコーディネートすることで更なる誘致拡大を図る。

▶瀬戸内海地域・中山間地域との広域連携による観光を推進し、体験型修学旅行の誘致活動並びに受入れ事業を強化する。

▶広域観光を中心に中四国並びに近隣都市等との連携強化を図る。

10. 会員増強の推進と会員ネットワークの強化

▶プロジェクトの運用による会員増強を引き続き実施するほか、会員講演会・交流会を開催し、会員相互の交流機会の提供に努める。



会員講演会・交流会

▶女性会・青年部・支店長会の積極的な運営により会員相互のネットワークを構築する。

11. 会員満足度の向上をめざすサービス事業の推進

▶生命共済「そなえんさい」はじめ各種共済制度、健診サービスなど福利厚生制度を提案し、会員サービスの強化に努める。

12. 情報発信力の強化と存在価値の向上

▶本所議員、役員選挙・選任を行う。

▶第四次中期行動計画（2018～2020年度）をPDCAサイクルにより推進する。

▶「広島商工会議所ビル」の機能・建設計画について検討する。